

北海道防災会議地震火山対策部会 地震専門委員会

地震防災対策における減災目標設定に関する
ワーキンググループ
(第23回)

日時：令和6年4月19日（金）

場所：北海道本庁舎地下1階危機管理センターA

日本海沿岸の被害想定等について

【前回のワーキンググループの主な議論について（継続協議事項）】

項目	主な議論	対応
○想定地震の発生確率	○長期評価の発生確率が4%となっているが、一般の方は相当低いと感じるため、兵庫県南部地震など、過去の地震の発生確率も併記し、確率が低くても十分起こりうることを理解してもらう工夫が必要 など	○最終報告までに整理
○道路被害等	○避難路となっている道路の傾斜地崩壊危険度やトンネルをどのように評価するのか など	○道路被害の想定結果を基に議論し、定性的な評価について検討
○河川結氷に伴う建物被害	○定量的評価が可能であれば計算するべき	○最終報告までに整理

日本海沿岸の被害想定等について

◇公表内容

建物被害及び人的被害などの定量的評価に加え、定性的評価や被害を軽減するために必要となる主な防災対策についても、同時に公表。

◇公表時期

被害の規模を明らかにすることにより、市町村が地域における防災対策を立案し、施策の推進に活用することができるよう、**令和6年度中の公表**に向けて取り組む。

◇その他

日本海沿岸の市町村を訪問し、意見交換等を実施する予定。